

重点事項

- 1 学校は、「笑顔あふれる 学校づくり」をテーマに日々教育活動、子どもが「できた！分かった！」と言える授業を進めます。

子どもの思いを大切にします。その思いの実現に向けて、日々の授業、行事等を通して、「できた」「分かった」「役に立った」というように、自身の頑張りや成長を実感でき、笑顔になれるよう支援に努めます。

学習活動においては、1時間の学習のめあてを明確にして、自分で考えたり、友達と話し合ったりして学んでいきます。また、授業の最後に1時間を振り返り、学習の成果を笑顔で実感できるように進めます。

- 2 学校は、「笑顔でつながる正色っ子」を努力点のテーマに、考え、共有し、自分に還元するというサイクルを通して、子どものもつ道徳性を高める努力します。また、相手を思いやる心を大切に育てます。

学年に応じた道徳的諸価値について、知識として理解するのではなく、自分の生活に照らし合わせながら身近な問題として、自分で考えることができるようにしていきます。また、「正色小学校いじめ防止基本方針」（ホームページに掲載）に基づき指導します。

道徳の授業の充実を図ったり、縦割り班活動や学級活動の内容の充実を図ったりすることで、子どもたちが笑顔でつながれるように進めます。

- 3 学校は、子どもたちが安心・安全に学校生活を送ることができるように、子どもの安全確保に努めます。

毎月初めに安全点検を行い、危険箇所があればすぐに直します。また、教職員全員で、全校の子どもの様子を見て、積極的に声掛けをします。毎月なごやっ子防災ノートの活用や緊急地震速報による避難訓練にも取り組みます。また、各専門機関とも連携していきます。

- 4 学校は、心身の健康や学習のことなど、子どもについての相談に適切に対応し、必要に応じて保護者に伝えたり、情報提供をしたりします。

日頃から学校での子どもの様子を全教職員でよく見て、情報交換をしつつ、子どものサインを見逃さないようにします。

今年度も全市の取り組みとして4、5、6年生で5月と10月に「学校生活アンケート」を実施します。年2回の教育相談（全校対象）で子どもから話を聞きます。その結果を学級経営に生かします。

また昨年度に引き続き、毎月原則16日を「こころの日」として、子どもたちが自ら心の状態を確認します。

必要に応じて、保護者に子どもの様子をお伝えすることで、家庭と学校の歩調を合わせます。

その他、正色だよりや学年だよりで、子どもたちの様子や保護者の皆さんにご協力いただきたいことやお知らせしたいことなどをお伝えします。ホームページも随時更新していきます。

- 5 学校は、基本的な生活習慣を身に付けるよう支援します。

各教室に「正色っ子のきまり」を掲示して、基本的な生活習慣の大切さを伝えます。また、全教職員が子どもたちと笑顔で挨拶するように努めます。

